地歴公民科	科目　歴史総合　（必修）	授業時数　2　単位 履修学年　3　学年

目　標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

●学習内容

1学期	20時間	2学期	28時間	3学期	22時間
第1編　歴史の扉	5	**第2編　近代化と私たち**	14	**第4編　グローバル化と私たち**	22
1　歴史と私たち		2　国民国家と明治維新		1　冷戦と世界経済	
2　歴史の特質と資料		3　近代化と現代的な諸課題		2　世界秩序の変容と日本	
第2編　近代化と私たち	15	**第3編　国際秩序の変化や大衆化と私たち**	14	3　現代的な諸課題の形成と展望	
1　結びつく世界と日本		1　第一次世界大戦と大衆社会			
		2　経済危機と第二次世界大戦			

教材
教科書:「私たちの歴史総合」清水書院 資料集:「歴史総合資料集」山川出版社 自主作成教材（プリント）

授業の進め方
社会の一員として、現代の諸課題に関して主体的に考える市民性を養うことを目指して、社会的な見方・考え方を働かせて様々な言語活動を行う。具体的には、教科書で扱う様々な教材をもとに、文章・資料読解やレポート作成などの「読む」「書く」活動や、グループでのディスカッションなどの「話す」「聞く」活動を行っていく。学習評価については、単元ごとに知識理解の定着を評価し定期的に実施される考査や小論文により、知識理解の深度と論理的思考力を評価する。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる（できる）	○ 近現代の歴史にかかわる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○ 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能がある。	○ 近現代の歴史事象の意味・意義・特色などを、時期・年代・推移・比較・相互関連性・現在との連続性などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握できる。 ○ 諸課題の解決を視野に入れて考察・構想したことを論理的に説明したり，それらを基に議論したりする力がある。	○ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする姿勢を示せる。 ○ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して自他のアイデンティティを理解し尊重しようとする姿勢を示せる。 ○ 自らの学びを深めるための具体行動がとれる。
	習得する（わかる）	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。
評価方法		定期考査・課題	定期考査・課題	定期考査・小論文（レポート）・ディスカッション

単元別　評価規準

第１編　歴史の扉

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる（できる）	○ 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ○ 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	○ 近代化／国際秩序の変化／大衆化／グローバル化など歴史の諸事象と、日本や周辺地域及び世界の歴史との関連性について考察し、論理的に表現できる。 ○ 複数の資料の関係や異同に着目し、読み取った情報の意味・意義・特色などを考察し、論理的に表現しそれをもとに議論できる。	○ 自らの生活・社会と歴史との関連性を指摘することができる。 ○ 日本や周辺地域及び世界の歴史との関連性をつかもうとする行動が示せる。 ○ 自らの学びを深めるための具体行動がとれる。
	習得する（わかる）	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。

第２編　近代化と私たち

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる（できる）	○ 諸資料を活用して情報の読解やまとめる技能がある。 ○ 任意の国・地域とその他の国・地域を比較・関連付けする技能がある。 ○ 18 世紀のアジアの経済と社会、工業化と世界市場の形成を理解している。 ○ 立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	○ 人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現できる。 ○ 現代的な諸課題につながる歴史的な観点から主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、論理的に表現したり、それをもとに議論できる。	○ 現代的な諸課題の形成に関わる歴史的背景を指摘することができる。 ○ 産業の工業化と自らの現在の学びとを関連付けることができる。 ○ 自らの学びを深めるための具体行動がとれる。
	習得する（わかる）	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。

第３編　国際秩序の変化や大衆化と私たち

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる（できる）	○ 諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能がある。 ○ 任意の国・地域とその他の国・地域を比較・関連付けする技能がある。 ○ 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ○ 国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	○ 国際秩序の変化や，人々の生活や社会の在り方が大衆化に伴い変化したことについて考察するための問いを言語化し表現できる。 ○ 現代的な諸課題につながる歴史的な主題を設定し、日本と他の国・地域の動向の比較・関連付けをおこなうことで、多面的・多角的に考察し、諸課題の形成に関わる歴史的背景を効果的に表現し、それをもとに議論できる。	○ 異なる価値観が共存し、摩擦を起こすことを踏まえて、自らの生活・社会に関連付けることができる。 ○ 二度の世界大戦を経た国際社会の変化を、現代的な諸課題に関連付けて考えようとする姿勢が示せる。 ○ 自らの学びを深めるための具体行動がとれる。
	習得する（わかる）	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。

第４編　グローバル化と私たち

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる（できる）	○ 諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能がある。 ○ 任意の国・地域とその他の国・地域を比較・関連付けする技能がある。 ○ 国際政治の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 ○ 市場経済の変容と課題，冷戦終結後の国際政治の変容と課題とを理解している。	○ 人々の生活や社会の在り方がグローバル化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現することができる。 ○ 持続可能な社会の実現を視野に入れ、現代的な諸課題につながる歴史的な観点から主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察・構想して探究することができる。	○ 現代の諸課題と歴史的背景との関連性について調べ理解する姿勢が示せる。 ○ これまでの学習を踏まえて、歴史を学ぶ意義を自らの学びにひもづけて説明することができる。 ○ 自らの学びを深めるための具体行動がとれる。
	習得する（わかる）	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。